

平成27年度 一般会計 予算内示 事業別概要書 (当初)

款	9. 教育費	大事業	4. 志津図書館管理運営事業
項	5. 社会教育費	中事業	
目	4. 図書館費	担当所属	志津図書館

予算種別	補助/単独	事業区分	前年度 当初予算額	増減額	前々年度 決算額	実施計画	5年間計画額		
経常	単独	通常	0	0	5,683			平成23年度	-
								平成24年度	-
								平成25年度	-
								平成26年度	-
							平成27年度	-	

本年度事業費	(歳入)	(歳出)
本年度当初要求額	150	
本年度当初査定額	150	6,230

財源内訳	諸収入						その他	一般財源
本年度当初要求額	0						150	△150
本年度当初査定額	150						0	6,080

<事業に関する説明>

<p>(事業の概要) 市内外の住民に、良好な状態の図書類を無償で貸し出します。 また、施設内の設備の定期的な点検を行い、必要ならば修繕をして、快適に使用できる状態に保ちます。</p>	<p>(事業の目的) 施設内の設備と図書類を適切に管理し、利用者に安全で快適な図書類貸出のサービスを提供します。</p>	<p>(事業の効果) 利用者に図書類を無料で貸出をすることで、市内外の住民の教養と文化の向上に寄与します。</p>
<p>(事業実施上の問題点) 志津図書館の年間入館者数は約40万人と利用率の高い施設であり、蔵書冊数も多く、図書館の運営(図書等資料整理・管理等)に係る経費が、他の施設と比べて多くなることが考えられます。また、開館後20年が経つため、備品の老朽化により、修理や買い替えの必要が生じる可能性が高くなってきています。</p>	<p>(前年度からの見直し点) 平成27年中に、建て替え休館中の志津分館が、再開館する予定です。それに伴い、購読を中止している新聞や一部の雑誌の購読も再開するため、その経費を増額要求しています。</p>	<p>(見積についての特記事項) 志津地区は市内で最も人口が多く、今後も図書類の需要が高い状態が続きます。予算の範囲内で、効率良く志津図書館及び志津分館の運営をしていく必要があります。</p>

節	本年度 当初査定額	前年度 当初予算額	増減額
09	70	70	0
11	5,227	4,972	255
12	331	518	△187
13	511	511	0
18	91	91	0

特定財源	款	項	目	節	細節	細々節	歳入特定財源科目名称	本年度 要求額	本年度 査定額	前年度 予算額	増減額
		20	05	04	01	50	06	コピー機使用料	150	150	150
差引一般財源								△150	6,080	△150	6,230